いざ出発

広報
みぶ
2013
1
No.644

主な内容

●新年のごあいさつ ……2～3
●デマンドタクシー“みぶまる”運行開始 ……4

ごあいさつ

壬生町長
小菅　一弥

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、町政の推進に対し、多大なるご支援とご協力をいただき、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年は、3.11東日本大震災からのさらなる復興ということで幕が開けました。

5月には、日本の復興のシンボルとも云えます「東京スカイツリー」が完成いたしました。隣接する東京ソラマチには栃木県のアンテナショップの「とちまるショップ」もオープンとなり、世界へ向け、栃木の魅力発信という大きな役目を果たしております。

7月には、世界のスポーツの祭典でありますロンドンオリンピックが開催され、日本は史上最多の38個のメダルを獲得することができました。同じ日本人が異国の地で躍動する姿に、これ以上ない感動と勇気をいただくことができました。また、町出身のサッカー国際副審の相樂亨さんが男子サッカーで副審を務め、日本人レフリーの実力を世界へと示されたことも私自身大きな喜びでありました。

さて、昨年の我が町は、何と申しましても、かんぴょう伝来300年ということで、「名脇役のかんぴょうを主役にしよう」と町民の皆様とともに1年間盛り上がってまいりました。8月に中央公民館で開催されましたメインイベントでは、かんぴょう伝来をご縁として交流がありました旧水口町であります滋賀県甲賀市の中嶋市長様をはじめ、料理研究家の服部先生やお笑い芸人のU字工事さんらの著名人にもお越しいただき、大変な賑わいとなりました。

また、昨年は、平成7年のオープン後、16年を経過しておりました「おもちゃ博物館」が、3月にリニューアルオープンをいたしました。リニューアル効果により集客数も前年を大きく上回っており、今後も町観光のシンボルとして、さらなる期待をいたしているところでございます。

昨年はさらに、町民の皆様ともお約束をしました継続的な被災地支援ということにも取り組ませていただきました。

代表的なものとして、皆様も報道等でご存知のことでしょうが、宮城県多賀城市の「災害がれき受入れ」を県内の自治体としては初めて実現することができました。約7カ月という期間をかけ、周辺住民の皆様へご説明をさせていただき、皆様の深いご理解とご協力により実現できましたことに、この場をお借りし改めまして心より感謝を申し上げる次第であります。

本件はまさに壬生町民の皆様が持つ「町民力」の結集があったからこそ実現まで至ったわけです。その「町民力」は、これまで先人の皆様がずっと築いてこられました、いわゆる「壬生の心」の継承がしっかりと成されてきたからこそ生まれる「力」であります。私は、誇るべきこの「町民力」を持って、これからも他の自治体にはない「町民一体型」の町を創り上げてまいりたいと新年とともに、心を新たにしているところでございます。

さて、2013年の壬生町のまちづくりのキーワードはズバリ「進化」であります。

ここで3点ほどご紹介いたします。

まず1点目は、「みぶ羽生田産業団地（産業未来基地とちぎ中央）」の第一期分譲が昨年12月から開始となり、壬生インターチェンジから産業団地へのアクセス道路となります羽生田・上蒲生線が3月に開通となります。それから2カ月後には、壬生インターチェンジと獨協医科大学病院を結びます、いわゆる「インター北通り」も開通する見込みとなっております。これらの整備充実により、大きく人の流れが変わり、さらにポテンシャルの高い地域へと生まれ変わってまいります。

2点目は、町民の皆様が長年最も待ち望んでこられました公共交通の充実でございますが、1月9日から、デマンドタクシー「みぶまる」が運行開始となりました。

運行中の「みぶまる」ですが、バスとは異なり、ご利用される方を好きな目的地までお送りするというところに最大のメリットがあります。お子様から高齢者の方まで、安心して楽しく町内のあちこちへお出かけください。

3点目は、さらなる「協働のまちづくり」ということで、私のマニフェストにも掲げさせていただきました「地域会議の開催」でございます。本年よりその前身というべきタウンミーティングを開催し、より行政を身近に感じていただくことを念頭に置き、皆様と共にまちづくりを進めることができるシステムづくりへ積極的に取り組んでまいります。

以上、ご紹介いたしました施策以外にも、町民の皆様からのご要望が多い身近な社会資本の整備や防災等も含めました生活・サービス分野の充実を着実に進めてまいります。

これらの施策すべては、23年度から5カ年のまちづくりのシナリオであります「壬力アップすまいるプラン」に掲げました「人口減少社会において、壬生町がいかに居住人口を維持、増加させていくか」という目標を実現していくために実施をしてまいるものでございます。

マニフェストにも掲げました都市計画税の廃止につきましても、新年度の25年度からは実質「課税ゼロ」ということで準備を進めているところであります。

税負担の少ない壬生町へ住もう、企業を立地させよう」ということにつながる重点施策でありますので、これからも私自身が先頭に立ち、各方面へPRをしてまいる所存であります。

本年も町民の皆様との「協働」により、皆様が町に誇りを持ちながら、健康で住み続けられるまちづくりへ、引き続き全力を傾注していく覚悟であります。

結びに、ここに、改めまして関係各位の深いご理解と、絶大なるお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げまして、私からの新年の御挨拶とさせていただきます。

共に壬生町を「進化」させてまいりましょう！

新年の

壬生町議会議長
大島　菊夫

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい平成25年の新春をお迎えのことと町議会を代表いたしまして、心からお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、やはり一昨年前の東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の災害復旧と放射能被害の対応であります。

あまりの被害の大きさに、年を越えて長期の重い負担を背負わされてしまいました。

そんな中、壬生町では、宮城県多賀城市の震災ガレキ処分の引き受けにおきましては、おかげさまをもちまして11月26日に受け入れ協定を締結し、12月3日から毎日約4トンの受け入れ処分が開始となりました。災害復興の一躍を担う大きな貢献が実現となり、これからも更に災害復興とともに風評被害の払拭の推進を図って参りたいと考えております。

3.11を教訓に様々な防災対策が施されています。

町でも、防災計画を見直し、行政だけでなく、地域の団体との協働により、自主防災組織結成への推進や高齢者のみの世帯が17.8％を占めるなか見守りネットワークの調印式が行われ、「官」と「民」が協働体としての第一歩を踏み出した年でした。議会としても、協働体の更なる拡大に向けて支援して参ります。

また、オリンピックロンドン大会では、サッカー女子のなでしこジャパンが最後まで諦めないで全力で戦い抜き銀メダルを獲得し、女子レスリングでの3連覇の金メダルや体操個人総合での優勝、また、ノーベル賞の受賞となったiPS細胞の研究の偉業が成し遂げられ、日本中に希望と元気をいただきました。

町では、みぶハイウェーパーク道の駅で3月に来場者500万人達成の記念祭が行われ、8月には干瓢伝来300年記念祭が盛大に開催されました。12月の年の瀬には、苺の新品種「スカイベリー」が販売され、イベントでは、昨年に続きシドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト高橋尚子さんをゲストランナーにお迎えし、約2,200人の参加者となる壬生町ゆうがおマラソン大会大会が盛大に開催されました。

地域公共交通のデマンドタクシーにつきましては、長年の検討期間を要しましたが1月9日から試験運行が開始され、待望の町内交通手段の確保が図られました。

また、羽生田産業団地への企業誘致におきましても、愛称「未来基地とちぎ中央」となり、12月から第1期分5区画の分譲開始となりまして町の更なる発展が期待されております。

国政に目を向けますと、師走には第46回衆議院総選挙が行われ、民主党から自民党に政権が交代となり、山積みする課題の対応となりますが、原発政策の在り方・環太平洋連携協定（TPP）の是非とともに早急なデフレ脱却の対応が期待されております。

また、地域主権改革の国と地方の協議の場に関する法律をはじめとする地域主権関連三法が成立し、分権社会に向け、大きな一歩を踏みだしております。

国も地方も責任を持って実行し、中央集権から脱却する筋道をつけて行くことが大事であると思っております。

町議会関係では、議会は住民の代表機関・合議機関、立法機関として、また、町長と議会の二元代表制の趣旨である「チェック・アンド・バランス」のもと取り組んでおります。

議会の活性化事業として、議案の調査確認の充実や災害時における議会災害対策の在り方の検討を図り、また議会・行政への関心や理解を深めて身近な議会を目指しました。

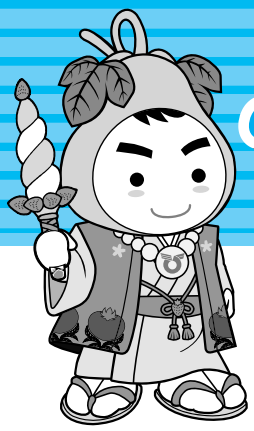
また、議会閉会中においても重要な政策の実施過程に住民の代表として参画し、適正にしかも公平・効率的になされているか議論を重ねチェックするため、各常任委員会の調査活動を行っています。

議会だよりについては、情報化社会へ対応するため壬生町ホームページに掲載し、インターネットからも見られるようになりました。

また、今後の取り組みにつきましては、皆様からの貴重なご意見を参考といたし、議会としての機能が十分発揮できるよう町民の代表として更なる活性化と開かれた議会を目指して参ります。

本年も、社会経済情勢の厳しい中ではありますが、町民の皆様とともに、豊かな住みよい町づくりを目指して取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続き町議会に対しましてのご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

結びに、壬生町の限りない繁栄と皆様方にとって本年が更なる飛躍の年になりますことを、心からご祈念申し上げ年頭のごあいさつとさせていただきます。



デマンドタクシーキャラクター
みぶまる

デマンドタクシー “みぶまる”運行開始！

運行がスタートしました。通院や買い物など、町内のお出掛けにご利用ください。

デマンドタクシー“みぶまる”の運行が、１月９日よりスタートいたしました。前日は、“みぶまる”の運行を記念して、出発式が行われました。出発式では、みぶまるの愛称募集やキャラクター募集、デザインシート募集で、優秀作品となった方へ賞状や記念品の授与が行われ、屋外では、記念の『テープカット』や車両の出発に合わせて『くす玉割り』が行われました。“みぶまる”は、町内でしたら、自宅から好きな目的地まで乗り合わせにより、どこへでも行くことが出来ます。利用するには、事前登録や事前予約が必要となりますので、ご利用予定の方は、下記へお問い合わせください。

みぶまる予約受付センター　☎81－1132（はーい　い　い　み　ぶ）

運行する車両はこちら

運行する車両は、車両の両側とボンネットにマグネットシートを貼っています。通常のタクシーと違い、同じ時間の便を予約された方と乗り合わせにより運行いたします。
運行は、お迎えと目的地までを１時間以内に行うことになります。
「○時にお迎えに来て」などの要望には、お応え出来ませんので、ご利用の際は、ご注意ください。

運行概要	
利用料金	中学生以上……３００円 小学生……１００円 未就学児……無料 ※お支払は、現金のみです。
運行日	毎週月～金曜日
運行便	午前の便（8、9、10、11、12時） 午後の便（1、2、3、4時）
運休日	土・日・祝日 （年末年始12／29～１／３）
予約期限	利用予定日の１週間前から１時間前までです。
受付時間	午前７時30分～午後５時30分 ※午前８、９時の便は、前日の午後５時までとなります。

Q&A（問い合わせの多いもの）

Q 病院の予約時間や電車の時間に間に合うようにしたいのですが？

A 出発から１時間以内でのルートを選定して、乗り合い運行を行いますので、「○時○○分までに○○に到着したい」、「○時までに迎えに来て」という要望には、お応え出来ません。

Q 帰りの便を予約したいのですが？

A ご利用する便（時間）が分かっている場合は、行きの便と合わせてご予約が出来ます。帰りの時間が分からない場合は、分かり次第、みぶまる予約受付センター（☎８１－１１３２）へお電話ください。

Q 予約の受付期間は？

A 利用予定日の１週間前から当日の１時間前までに予約してください。なお、予約受付時間は、平日の午前７時30分から午後５時30分までとなっております。午前８、９時の便につきましては、前日の午後５時までに予約をしてください。

問合せ先　町総務部総合政策課企画調整係　☎８１－１８１３

かんぴょう伝来300年記念

壬生町ゆうがおマラソン大会

12月２日、壬生総合公園陸上競技場及び周辺道路において「かんぴょう伝来300年記念」壬生町ゆうがおマラソン大会が開催されました。ゲストランナーに高橋尚子さんをお迎えし、青空の下で約2,200名のランナーが激走を展開しました。レース終了後は、高橋尚子さんによる講評やオークションなどが行われ、大いに盛り上がりました。

大会結果　♣優勝者♣

10km

男子	高校生以上～29歳以下	塩田 寛朗	33分34秒
男子	30歳以上～49歳以下	松村 紀幸	31分26秒
男子	50歳以上	湯田 真一	35分49秒
女子	高校生以上	田上 奈保子	40分26秒

5km

男子	中学生	木野内 海音	17分28秒
男子	高校生以上～29歳以下	藪野 慎太郎	17分06秒
男子	30歳以上～49歳以下	石川 昌宏	16分09秒
男子	50歳以上	川上 薫	18分16秒
女子	高校生以上～39歳以下	鈴木 誌恵里	17分21秒
女子	40歳以上	大谷 弘子	21分10秒

3km

男子	小学校（４～６年）	下山 静樹	10分12秒
女子	小学校（４～６年）	高橋 実里	10分43秒
女子	中学生	飯塚 響	10分49秒

2km

親子ペア小学校（１～３年）	ペア	篠原 悠・貴宏	7分03秒
		小澤 真・野沢 昌弘	6分47秒

ゆうがおマラソン大会売上金を被災地へ

12月２日、壬生総合公園陸上競技場で開催された「かんぴょう伝来300年記念」壬生町ゆうがおマラソン大会において出店された、地域活性化21（代表　大橋良平氏）の９店舗の皆様から、売上金の一部を東日本大震災復興のために役立てて欲しいと22,300円の寄付がありました。

この寄付金は、当日の高橋尚子さんのオークションの売り上げと合わせて、壬生町ゆうがおマラソン大会実行委員会から岩手県陸前高田市へ寄付されます。

確定申告は期限内に！

住民税・所得税の申告は、３月15日(金)までです。

町では、次の表のとおり各会場において申告受付を実施いたします。

例年、申告期間の終了間際になりますと、各会場が大変混雑しますので、なるべく日程表の該当日に申告くださるよう、よろしくお願いいたします。

◇開場時間　午前８時30分　開場後に番号札を配布いたします。

◇受付時間　①午前の部　午前９時から午前11時30分まで　②午後の部　午後１時から午後４時まで
※午前11時30分から午後１時までは除きます。

○壬生町会場

月日	曜日	申告割当地区（大字単位）	会　場
2月14日	木	羽生田・上稲葉	稲葉地区公民館
2月15日	金	下稲葉・福和田	
2月16日	土	七ツ石（都合により、午前の部のみとなります）	
2月19日	火	落合一丁目 ～ 三丁目 ・ いずみ町 ・ 若草町	南犬飼地区公民館
2月20日	水	緑町一丁目～四丁目	
2月21日	木	幸町一丁目～四丁目	
2月22日	金	安塚　１ ～　８８０番地	
2月23日	土	安塚　８８１ ～ １，１００番地	
2月26日	火	安塚　１，１０１ ～ ２，０００番地	
2月27日	水	安塚　２，００１番地　～	
2月28日	木	中泉 ・上田 ・ 北小林	
3月 1日	金	国谷・助谷	
3月 2日	土	あけぼの町 ・ 寿町 ・おもちゃのまち一丁目 ～ 四丁目	
3月 5日	火	壬生甲 ・ 壬生乙	壬生中央公民館
3月 6日	水	表町 ・ 藤井	
3月 7日	木	元町 ・ 駅東町	
3月 8日	金	壬生丁１ ～ １５９番地	
3月 9日	土	壬生丁１６０ 番地 ～	
3月12日	火	至宝一丁目 ～ 三丁目 ・ 壬生丙	
3月13日	水	本丸一丁目 ・ 二丁目	
3月14日	木	中央町 ・ 通町 ・ 大師町	
3月15日	金	町内全地区	

★申告割当地区

申告日につきましては、地区割(大字単位）で指定しておりますが、ご都合が悪い場合は、割当地区以外でも申告を受付できます。

★次の方は町会場での申告受付はできませんので、税務署会場において確定申告をすることになります。

また、下記以外でも申告内容により税務署会場で確定申告をする必要がある場合があります。

●個人売買等による譲渡所得（土地・家屋・株式等）がある方

●青色申告をされている方

※栃木税務署の確定申告会場は栃木商工会議所大ホールになります。税務署会場での申告期間は２月18日(月)から３月15日（金）までです。（土・日曜日は除く）

★お持ちいただく書類等

①印鑑

②源泉徴収票（コピーではなく必ず原本をお持ちください。）

③生命保険料や地震保険料等（地震保険料及び旧長期損害保険料）の控除証明書

④社会保険料（国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・国民年金保険料）の領収書
※社会保険料のうち国民年金保険料は、控除を受ける場合に証明書類を添付または提示する必要がありますので、必ずご持参ください。

⑤その他所得控除や税額控除を受けるのに必要な書類

⑥金融機関の口座番号の控え（申告者ご本人名義のもの）等

問合せ先　町総務部税務課町民税係　☎81－1817

Part.1

「脳卒中にならないために、そして万が一、なった時のために」

町では、「栃木県脳卒中啓発プロジェクト」に参加し、脳卒中初期症状についての認知度を向上させるための啓発に集中的に取り組んでいきます

栃木県では男性、女性とも脳卒中の死亡率が高くなっています。

しかし、救急車利用率が少なく、発症から来院までの時間が遅いことが大きな問題となっています。脳卒中初期症状を早期に発見し受診できるようになっていただきたいと思い、シリーズで、家庭での脳卒中対策についてお伝えしていきます。

脳卒中ってなんでしょう？

脳卒中は、脳の血管がつまったり破れたりして起こる病気です。
このため脳に新鮮な酸素や栄養が届かなくなり、脳の働きがさまたげられて、さまざまな症状を起こします。

脳の血管がつまる病気を「脳梗塞」といいます。血管がつまる原因として２つあります。
①動脈硬化によって脳の血管自体が狭くなる場合
②不整脈や弁膜症、心筋梗塞などのために心臓の中に出来た血栓（血のかたまり）が血液の流れに乗って脳に運ばれ、そこで脳の血管をふさいでしまう場合

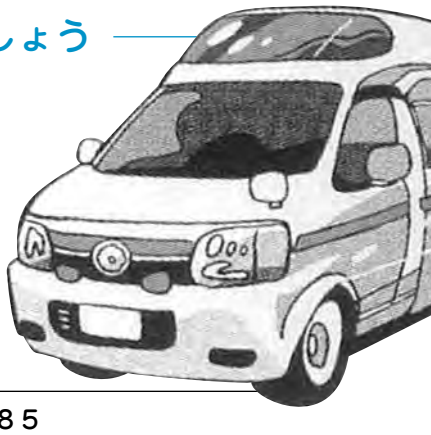
脳の血管が破れる病気には、「脳出血」と「くも膜下出血」があります。
「脳出血」は脳の細い血管が破れて、脳の内部に出血するものです。最も重要な原因は高血圧です。
「くも膜下出血」は脳の表面を走っている太い動脈にできたこぶ（動脈瘤）が破れて、脳の表面に出血するものです。

血管が詰まる
（脳梗塞）

血管が破れる
（脳出血・くも膜下出血）

脳卒中が疑われたらすぐに医師の診断を受けましょう

☎ ⇒ “１１９番”へ



◎脳卒中では以下のような症状が突然起こります

- ●片手の手足・顔半分のマヒ・しびれが起こる（手足のみ、顔のみの場合もあります）
- ●ロレツが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない
- ●力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする
- ●片方の目が見えない、モノが二つに見える、視野の半分がかける
- ●経験したことのない激しい頭痛がする

問合せ先　町民生部健康福祉課健康増進係　☎８１－１８８５

国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付額確認書等について

確定申告をされる場合、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書は、社会保険料控除の控除額を確認するための大切な資料となりますので、紛失しないようにしてください。

口座振替で納付されている方は、１月下旬に控除の証明となる口座振替済通知書を送付する予定です。

領収書等を紛失された場合は、納付額確認書を発行いたしますので、運転免許証等の本人確認ができる書類をお持ちのうえ、町税務課収税係までお越しください。

また、年金から国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を天引きされている方については、日本年金機構より送付される年金の源泉徴収票の社会保険料の欄に納付額が記載されています。源泉徴収票は、確定申告等で必要となりますので紛失しないようにしてください。

問合せ先　町総務部税務課収税係　☎８１－１８１６

20歳がスタート！ 国民年金

日本に住む20歳から60歳の方は、国民年金制度に加入することになっています。
国民年金は厚生年金・共済年金とともに、老後の所得保障だけでなく、病気やケガで障害が残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなどに、あなたやご家族の生活をサポートする制度です。
大人の仲間入りをした皆様も、忘れずに国民年金の加入手続きを行い、年金制度をよく理解し、成人として将来の生活づくりに備えましょう。

国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります

老齢基礎年金	障害基礎年金	遺族基礎年金
原則として、65歳から生涯受けられます。	病気やケガで一定の障害になった方が受けられます。	夫が亡くなったときに子のある妻または子が受けられます。

国民年金には、３種類の被保険者資格があります

被保険者の種類	第１号被保険者	第２号被保険者	第３号被保険者
加入者	20歳以上60歳未満の自営業・農林漁業・学生・無職の方など	厚生年金・共済組合に加入している会社員、公務員など	20歳以上60歳未満で会社員や公務員に扶養されている配偶者
保険料	自分で納めます。 国民年金保険料 【定額】１ヵ月 14,980円 （平成24年度）	自分で納める必要はありません。厚生年金保険料、共済組合掛金として給料から天引き	自分で納める必要はありません。配偶者が加入する年金の保険者（事業所）が負担
加入手続	住所のある市町村役場の窓口	勤務先が手続きを行うので、個人による手続きは不要※	配偶者の勤務先が手続きを行うので、個人による手続きは不要※

※20歳になる日（誕生日の前日）に就職しているか、第２号被保険者の扶養になっている方は、上記のとおり手続き不要ですが、20歳前に勤め先を退職した方は、厚生年金等に加入していた当時の基礎年金番号による、国民年金加入手続きが必要になります。

《保険料の免除・納付猶予》
「学生である、収入が少ない、就職していない」等の理由により国民年金保険料の納付が困難な場合、**「学生納付特例制度」や「保険料免除制度」（30歳未満の場合は、若年者納付猶予制度）**など、国民年金保険料の納付を免除・猶予する制度があります。加入手続きの際に、あわせてご相談ください。

年金手帳は、大切に保管しましょう

公的年金制度では、すべての年金制度に共通して運用される『基礎年金番号』が用いられています。最初に加入手続きをする際に、個人毎に基礎年金番号が付番され、年金手帳が交付されます。以後、あなたのすべての年金加入履歴や保険料納付状況が、登録された基礎年金番号によって管理・記録されます。
加入の手続き漏れや保険料の納め忘れがあると、将来受け取る年金が少なくなったり、万一の際に年金の受け取りができない場合があります。年金手帳は、年金に関する手続きを行う際に必要なものですので、大切に保管してください。

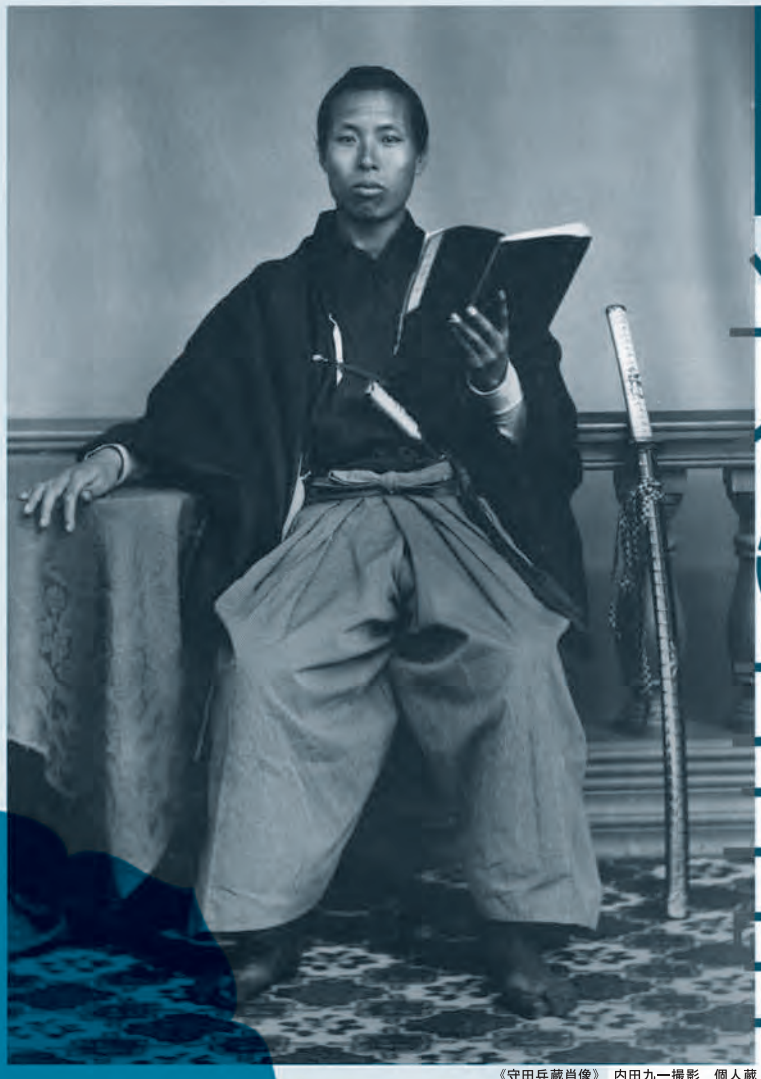
問合せ先
●ねんきんダイヤル　☎0570－05－1165　●栃木年金事務所 お客様相談室　☎22－4134
●町民生部住民課国保年金係　☎81－1827

《鍾美館》 個人蔵

壬生のサムライと日光の壬生

――“NIKKOブランド”の開拓者――

THE SAMURAI OF MIBU AND THE MASTERPIECES OF NIKKO
THE PIONEER OF THE NIKKO BRAND



《守田兵蔵肖像》 内田九一撮影 個人蔵

2013年
2月9日［土］→
3月20日［水・祝］

開館時間＝午前9時―午後5時（但し、火曜日は午後1時から）
休館日＝月曜日（2月11日は開館） 主催＝壬生町教育委員会
観覧料＝一般200円、中学生以下無料
障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。

壬生町立歴史民俗資料館

〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33
（東武宇都宮線壬生駅下車、壬生城址公園内）
TEL 0282-82-8544

1

2

明治時代に、〝NIKKO ブランド〟を立ち上げた壬生のサムライ 守田兵蔵（1844-1925）をご存知でしょうか。

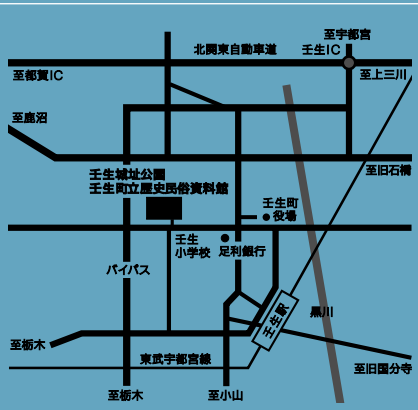
守田は、下野国壬生藩士から秋田県阿仁鉱山・栃木県足尾銅山技師を経て実業家に転じ、明治27年（1894）、徳川家の聖地・日光に美術工芸品を陳列した《鐘美館》を開設。東京から高名な堆朱職人の鈴木陽恵、美濃から陶芸家の成瀬誠志、そして地元日光からは洋画家の五百城文哉・小杉未醒を招聘し〈日光堆朱〉、〈日光焼〉、〈日光絵画〉のブランドを開発するなど、地域産業の振興に尽力した人物です。

とりわけ、〈日光堆朱〉の職人には守田と同郷の名手人見城民（県文化功労者）、その師上野桐恵（1883-1955）がいました。桐恵は城民と同じく壬生町出身で、精巧な技術で調度品など大正天皇の御用品75点を手掛け、国内外の博覧会に出品し国際的な評価を受けた彫刻師です。

こうして開発された〝NIKKO ブランド〟の美術工芸品は、宮内省や日光を訪れる外国人観光客の目に留まり、その芸術性は遠く海外にまで知れ渡りました。そしてその拠点となったのが、美術工芸品陳列場として開設された《鐘美館》です。しかし、大正天皇が即位し田母沢御用邸に行幸すると、《鐘美館》は供奉者である儀仗兵の宿舎となり、その役割を終えました。

その後、〝NIKKO ブランド〟は新たな拠点〈日光美術館〉を中心に運営されました。美術館は、明治41年（1908）9月に建設されたネオバロック様式の宏壮な建物でした。

本展では、守田兵蔵が主宰した県内初の美術館《鐘美館》を再現し、また、守田と近代美術の出会いとなった日本画家の寺崎廣業（東京美術学校教授）との交流も併せて紹介します。



［電車］ JR宇都宮線「自治医大」駅下車、タクシー約15分
東武宇都宮線「壬生」駅下車、徒歩約10分
［車］ 北関東自動車道
「壬生I.C.」から車で約10分、「都賀I.C.」から車で約10分

壬生町立歴史民俗資料館

栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33（壬生城址公園内）
Tel. 0282-82-8544

関連企画

■シンポジウム「壬生のサムライと〈NIKKOブランド〉」
講師　鈴木さとみ［栃木県立美術館］
田中正史［小杉放菴記念日光美術館］
山本丈志［秋田県立近代美術館］
当館担当学芸員
日時　2013年3月10日［日］午後1時30分～4時
会場　城址公園ホール研修室
定員　100名（先着順）
＊参加無料です。参加を希望の方は TEL.0282-82-8544 までお申込みください。定員になり次第締め切ります。

■ミュージアム・トーク（担当学芸員による展示解説）
2月10日［日］・24日［日］
3月20日［水・祝］午後2時～
＊いずれも企画展観覧料が必要（事前申込み不要）

1. 五百城文哉《東照宮・陽明門》 小杉放菴記念日光美術館
2. 寺崎廣業《雪夜（守田兵蔵旧蔵）》 宮城県立美術館
3. 上野桐恵《日光堆朱文庫》 個人蔵
4. 上野桐恵《浮彫・獅子図》 個人蔵
5. 成瀬誠志 陶製《日光陽明門置物》 中津川市苗木遠山史料館
6.《日光美術館》写真 個人蔵

壬生のサムライと日光の至宝

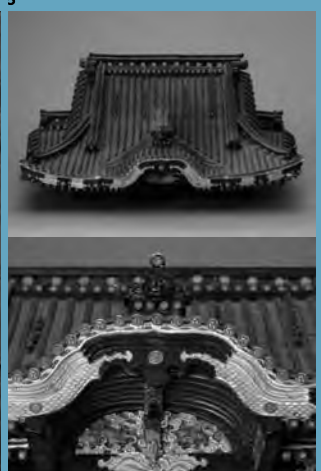
――“NIKKOブランド”の開拓者――

THE SAMURAI OF MIBU AND THE MASTERPIECES OF NIKKO
THE PIONEER OF THE NIKKO BRAND

3

4

5



6

まちのわだい

壬生町農村生活研究グループ協議会 「フラワーボックス運動」を実施

11月17日、町の施設である「ふれあい女性センター」を花でいっぱいにしようと、壬生町農村生活グループ協議会（あすなろ・弥生会）により、花植えが実施されました。これは春と秋の年２回、活動拠点であるふれあい女性センターへの感謝の気持ちを込めて、ボランティアで行っているものです。花苗はマミーポットみぶより無償提供をうけており、十年近くにわたり続けてくださっています。

これからも、ふれあい女性センターや富士見荘の利用者の目を楽しませてくれることでしょう。

栃木県民生委員児童委員大会開催

11月21日、県内各地で活躍する民生委員児童委員、関係者が一堂に会し、第22回栃木県民生委員児童委員大会が開催されました。その席上、長年、民生委員・児童委員として地域福祉の向上に尽力されたことにより次の方が表彰を受けられました。

栃木県民生委員児童委員協議会会長表彰

民生委員・児童委員　田崎（たさき）　玲子（れいこ）　さん
大橋（おおはし）　信行（のぶゆき）　さん
玉田（たまだ）　洋子（ようこ）　さん

写真：左から、玉田さん、田崎さん、大橋さん

ふれあい芋煮会を開催

11月25日、おもちゃのまち第一児童公園において、緑町二丁目自治会による「ふれあい芋煮会」が開催されました。

子どもたちはもちつき体験や和菓子屋さんの指導によるいちご大福作りに挑戦したあと、お手玉やしゃぼん玉、グラウンドゴルフなどで高齢者と交流を図り、一緒に楽しみました。

また、近隣の自治会長さんにも案内状を配り、普段ふれあうことの少ないほかの自治会との交流も深めました。

嘉陽が丘の里山整備を実施

11月25日、早朝より、地域の方約200名と壬生町造園業組合及び壬生町建設業組合のボランティアの方約50名の協力により、嘉陽が丘ふれあい広場（上稲葉）周辺山林の下草刈りが行われました。

この事業は、町の「明るく安全な里山林整備事業」を活用して、自然豊かな環境づくりと、美しい里山を次代に引き継ぐことを目的として、嘉陽が丘里山の会（坂田昇一（さかたしょういち）会長）が主催したものです。

まちのわだい

高齢者見守りネットワーク事業協定調印式

11月27日、町長室において、壬生エルピーガス協会（玉田秀夫（たまだ ひでお）会長）と町の間で「高齢者見守りネットワーク事業」協力に関する協定調印式が行われました。

この協定は、町が昨年度から町内新聞販売店、郵便局、自治会等と構築を進めている「高齢者見守りネットワーク事業」の一環で、ガスメータ検針や料金集金時において一人暮らし高齢者等の見守りを行い、病気等の異変に気付いた時には速やかに町や地域包括支援センターに連絡をしてもらい、高齢者の孤立死を防止して、安心して暮らせる町づくりを目指すものです。平成25年度には、町内各自治会にネットワーク構築をお願いする予定です。

人権擁護委員が街頭啓発活動を実施

国連が世界人権宣言を採択した12月10日（「人権デー」）を最終日とする１週間（12月４日から10日）を人権週間と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を展開しています。

町人権擁護委員協議会では、12月７日に町内のスーパーマーケット２カ所において、街頭啓発活動を実施したほか、当日のみ特設相談所を開設しました。

特別敬老金　鈴木（すずき）タエさん100歳おめでとうございます

12月８日、鈴木タエさんが100歳の誕生日を迎えられたため、町長が入院先を訪問して敬老金を手渡し、長寿をお祝いしました。

ご自宅で転んで骨折したための入院でしたが、お伺いした時は間もなく退院されるということで、とてもお元気にされていました。これまで大きな病気もなく大変健康に過ごされてきたそうで、100歳の誕生日を迎えられたことを喜んでいらっしゃいました。

これからも元気で長生きをしていただきたいと思います。

※壬生町では、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えられた方に、特別敬老金を贈り長寿をお祝いしております。平成４年４月から実施している事業です。

地域ナンバー1! 地域の話題はコミュニティチャンネル ◆ 地上デジタル111ch（リモコンボタン11）・アナログ9ch

auスマートフォンをお使いの方は インターネット ひかりギガ ＋ ケーブル プラス電話

利用料も通話料も 断然お得です！

※詳しくはお気軽にお問い合わせください。

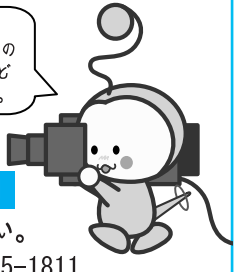
栃木ケーブルテレビ フリーコール 0120-25-1819 携帯電話・PHSからは 0282-25-1811

■ 壬生町成人式 放送日時

1/28（月） 21:30　2/1（金） 21:30
29（火） 17:30　2（土） 17:30
30（水） 13:30　3（日） 13:30 （30分番組）
31（木） 9:30

壬生町成人式ダビング料金 3,150円

みなさんの地域へ取材に伺います。情報をお寄せください。



まちのわだい

第41回おもちゃ団地チャリティーバザール

12月8・9日の2日間、おもちゃ団地協同組合グラウンドをメイン会場として、冬の恒例行事、おもちゃ団地チャリティーバザールが開催されました。

今年も会場には、おもちゃ団地に協同組合加盟の各企業や地元商店会によるテントが立ち並び、様々なおもちゃや雑貨、文房具などを買い求める人の列ができていました。

また、メインステージでは、おもちゃ団地の新イメージキャラクター「壬生えみこ」の発表会とキャラクターグッズの先行直売会も行われ、注目を集めていました。

なお、収益の一部はおもちゃ団地協同組合より、町に寄付されました。

子育て支援センター　クリスマス交流会開催

12月15日、保健福祉センターにおいて、ひよこを利用している親子、ファミサポ会員親子の合同クリスマス交流会が開催されました。

「プラチナキッズ」による素敵な音色のハンドベル演奏が行われ、クリスマスの雰囲気があふれたところに「ウェスト　フィールズ」のゴスペル隊が登場。その歌声にうっとりと聞き惚れたり、一緒に参加したりして楽しみました。

最後は、サンタさんが現れプレゼントを手渡すと、子どもたちは大喜びでした。

バレーボールで全国大会出場

12月25日から28日まで大阪府大阪市にて開催された、JOCジュニアオリンピックカップ第26回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、壬生中学校3年篠原匡徳（しのはらまさのり）くんが栃木県選抜選手として出場し、その報告に町長室を訪れました。篠原くんの今後のさらなる活躍が期待されます。

地元と共に まごころサービス

鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター	新車・中古車販売 くるま市店	オートサービス安塚給油所	サイクル&モーターショップ
鈴木自動車販売株式会社	スズキ販売壬生	スタンドスズキ	鈴木輪業
壬生町安塚1170-6	壬生町安塚793-18	壬生町安塚874-3	壬生町安塚1935
TEL:(86)0798	TEL:(86)3188	TEL:(86)0386	TEL:(86)0012
FAX:(86)0903	FAX:(86)3172	FAX:(86)0368	FAX:(86)1356

フリーダイヤル　0120-12-0798

ご家族おそろいでお出かけください。入場無料!!

2/23(土)・24(日)

時間：9:00～16:00
会場：壬生中央公民館

2/23(土)・24(日)

午前9:00～午後4:00

中ホール ■作品展示

・彩の会(ちぎり絵)・壬生写真クラブ・壬生水墨会
・フクベー刀彫・生花教室・女性会(編物)・美術部
・コスモスの会(押し花)・竹優会(竹工画)
・ステンドグラス教室・壬幸かな書道会・かたくりの会(絵手紙)
・稲葉書道教室(瑞穂会)・日光彫の会・古布の会
・ゆふがほの会(書道教室)・くちなしの会(絵手紙)
・写団みぶ・ビーズアクセサリー教室・遊窓会(水彩画)
・エコクラフト「矢羽根」・プリザーブドフラワー教室
・壬生町短歌会・籐工芸教室・トールペイント愛好者の会
・仏像彫刻の会

ロビー

■展示《消費生活展》
・安全安心な暮らしを支えるエネルギーの課題と節電と省エネルギーについての消費者行動実態調査。
・振り込め詐欺の防止。

■実習コーナー
・包装紙を使って「ファッションフラワー」を作ろう。
〈壬生町消費者友の会〉

玄関前

■花の販売
〈ガールスカウト栃木県第18団〉

2/20(水)～24(日)

午前9:00～午後4:00

●ロビー(特別展示)
つるし雛
〈つるし雛愛好会〉

2/23(土)・24(日)

午前9:00～午後4:00

●ロビー(特別展示)
◇宮城県多賀城市の紹介

2/24(日)

午前10:00～午後2:00

●中会議室：お茶席
(1席200円)：〈茶道教室〉
●玄関前：うどん・そば販売
〈壬生町青少年クラブ協議会〉

介護でお悩みの方、お気軽にご相談ください

デイサービスセンター元気
☎82−9930
朝夕の送迎付き、一日楽しい時間をお過ごしください
要介護にならないための、予防教室も好評です

住み慣れた地域の中で、その人らしい生き方をいつまでも　♥社会福祉法人　敬和会♥

平成24年度

生活に潤いと楽しさを与える
第25回 公民館まつり

2/24日(日) 大ホール

午前9:30～午後4:15

■ステージ部門(イベント)

9：30～	助谷五段囃子保存会
9：45～	美佐恵会（民舞）
10：00～	壬生町太極拳協会
10：15～	すみれコーラス
10：30～	童謡を歌う集い
10：45～	コーラスレモン
11：00～	壬生少年少女合唱団
11：15～	主催者・来賓挨拶（町民の歌斉唱）
11：30～	オカリナ草風会
11：45～	リリーコーラス
12：00～	コールたんぽぽ
12：15～	ピアノサークル「エチュード」
12：30～	プメハナ・アロハフラ
12：45～	モアニケアラ
13：00～	安達バレエ教室①
13：15～	おもちゃの町よさこい睦
13：30～	菊代紫会（日舞）
13：45～	すみれの会（大正琴）
14：00～	壬生ゆうがおの会（大正琴）
14：15～	壬生芦美会（大正琴）
14：30～	フォークダンス（昼・夜・こすもす）
15：00～	マジック愛好会
15：15～	アロハブルーレイ＆マカマカ
15：45～	いきいき元気体操
16：00～	安達バレエ教室②
16：15	主催者終了挨拶

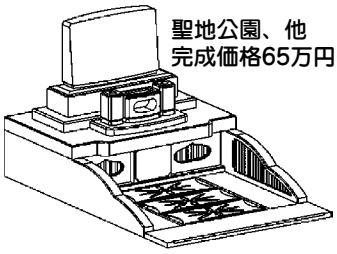
※順番は変わることがあります。

主催：公民館まつり実行委員会

●問合せ先 | 壬生中央公民館 ☎82-0108 | 稲葉地区公民館 ☎82-7374 | 南犬飼地区公民館 ☎86-0031

墓石・石工事
修理承ります

造園土木
草刈・伐採
スズメバチ駆除



聖地公園、他
完成価格65万円～

お墓ディレクターにご相談下さい
㈱県南環境 TEL 82-6700
大師町25-5/展示場：小金井駅東

《お任せください》
皆様の暮らしを守ります
○壬生町水道施設維持管理業務
○壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
○農業集落排水処理施設各処理場巡回管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社
昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績
本　　社：〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南2-1-8　恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807　栃木県小山市城東1-1-32-102

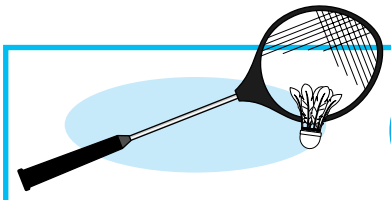
広場

清水柑那（しみずかんな）ちゃん
（H24.1.5生）
（上長田）

わが家のアイドル

田野井萌（たのいもえ）ちゃん
（H20.7.5生）
凛（りん）ちゃん
（H24.1.13生）
（六美町南部）

葭葉泰政（よしばたいせい）ちゃん
（H20.2.1生）
柊惺（しゅうせい）ちゃん
（H24.1.16生）
（下馬木）



29th MIBU バドミントン大会

（11月25日　町総合運動場体育館　参加者60名）

成　績

○男子A

優　勝	上野・田中	組
準優勝	佐藤・鈴木	組
第３位	宮内・平石	組

○男子B

優　勝	大山・瀬賀	組
準優勝	福井・佐藤	組
第３位	稲葉・坂田	組

○女子A

優　勝	笹井・岩本	組

○女子B

優　勝	藤江・早乙女	組
準優勝	梶　・石塚	組
第３位	加藤・小平	組

優勝者のみなさん

教育・文化・スポーツの振興に取り組む
こんにちは！壬生町教育委員会です！
第33回

「認めあい　支えあう　男女共同参画のまち・みぶ」を目指して　Ⅵ

「話し合おう！我が家の家事分担」

新年明けましておめでとうございます。

さて、今年も賑やかなお正月を迎えられたことと思います。

この賑やかなお正月の影で、料理、掃除、洗濯と普段にも増して、忙しい日々を過ごす女性の姿に皆さんお気づきでしょうか？

壬生町の男女共同参画プランでは、「認めあい　支えあう　男女共同参画のまち・みぶ」を基本目標に掲げて推進しておりますが、アンケートの結果、「家庭生活で平等となっていると思う人の割合」が28.5％であるところを見ると、家庭内での男女共同参画はまだまだ浸透していないようです。

新年を迎え、家族間で家事分担について話し合ってみてはいかがでしょうか。話し合いの中から、お互いを思いやり、認めあい、支えあう、新しい家族のスタイルが見えてくるかもしれません。

また、壬生町教育委員会では壬生町女性団体連絡協議会との共催で、２月17日（日に、歌手「クミコ」（２０１０年紅白歌合戦出場）を招き「男女共同参画講演会」を開催いたします。

クミコさんの歌とトークで素敵なひとときをお過ごしください。

女団連によるいわき市での視察研修の報告と男女共同参画推進委員有志による寸劇も予定しております。

日　時　平成25年２月17日（日）
13時00分　開場
13時30分　開演

場　所　壬生町中央公民館　大ホール

＊無料ですが入場には聴講券が必要です。
（役場本庁、各出張所、各公民館、生涯学習館にて配布中）

問合せ先　町教育委員会生涯学習課
☎81－1872

みんなの

田口瑠衣斗（たぐちるいと）ちゃん
（H23.1.25生）
（安塚中央）

前原咲良（まえはらさら）ちゃん
（H24.1.17生）
（中表町）

山崎泰河（やまざきたいが）ちゃん
（H23.1.7生）
（栄町）

髙橋騎士（たかはしないと）ちゃん
（H22.1.11生）
（落合）

小山悠斗（こやまゆうと）ちゃん
（H19.6.27生）
愛奈（まな）ちゃん
（H23.1.7生）
（落合）

大橋（おおはし）ひよりちゃん
（H20.1.16生）
ひなたちゃん
（H24.1.20生）
（上長田）

次回は３月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。
【締　　切】２月20日
【必要事項】氏名(ふりがな)、保護者名、生年月日、電話番号
【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所、子育て支援センターまで
【申 込 先】町総務部総合政策課情報広報係
〒321－0292　壬生町通町12－22
Eメールアドレス　info@town.mibu.tochigi.jp

歴史民俗資料館だより

ふるさと再発見の旅

古来の土木技術が伝わる『羽生田城』（2）

前回に続き、羽生田地区にある戦国時代に築かれた「羽生田城」について紹介します。

羽生田小学校の校歌には、「三重のお堀は歴史を語る……」と歌われていますが、現在の地形の様子を丹念に調べていくと、どうも三重目の堀の外側に、四重目の大きな堀がめぐっていることがわかってきました。しかし、堀のほとんどは土に埋もれ、その姿を見ることはできません。

現在、羽生田小学校の北西側には深く掘られた「堀」と土が高く盛られた「土塁」の址を見ることができます。ところで、今のようにコンクリートなどの近代的な材料がなかった時代に造られた「土塁」が、なぜ５００年経っても崩れずに残っているのでしょう。

これは「版築（はんちく）」といって、土を盛っては上から固める工程を何度も繰り返すことにより、丈夫な土塁を築いているためです。時代は新しくなりますが江戸時代の壬生城でも採用されています。またこの技法は、羽生田城が築かれる時代よりも古い古墳時代から使われている技術です。大昔に築かれた茶臼山古墳や長塚古墳などの権力者たちの墓が崩れずに残っているのも、この「版築」という技術が使われているためです。今から１５００年前の技術が戦国時代の世まで受け継がれてきたわけです。

現地を訪れた際は、堀址の深さに感動するだけでなく、当時の土木技術の高さにもふれてみてください。

次回は「羽生田城」の最後について紹介します。

参考例　壬生城本丸土塁の「版築層」

問合せ先
歴史民俗資料館
☎0282－82－8544

地区別町政懇談会

10月25日壬生中央公民館、11月１日稲葉地区公民館、11月９日南犬飼地区公民館において、町自治会連合会（山本忠男会長）主催による、「平成24年度地区別町政懇談会」が開催されました。

懇談会には、各地区の自治会長さん、町から町長、副町長、教育長、総務・民生・経済・建設部の各部長、教育次長、会計管理者が出席しました。

始めに、小菅町長から行財政運営の状況等について説明がありました。その後各自治会からの意見・要望等について担当部長から回答があり、活発な意見交換が行われました。

主な意見要望

・道路整備について　・上下水道整備について
・産業団地について　・消防団員について

寄附

12月12日、おもちゃ団地協同組合様から、まちづくりに役立ててほしいと「おもちゃ団地チャリティーバザール」の益金を寄附していただきました。

表紙の写真
デマンドタクシー“みぶまる”出発式。テープカットセレモニーが行われ、「いざ、出発」の掛け声で車両が走り出しました。

2月の納税等

納期限　2月28日
- 固定資産税・都市計画税（4期）
- 国民健康保険税（8期）
- 介護保険料（8期）
- 後期高齢者医療保険料（8期）

おもちゃ博物館 お正月特別開館

１月３日・４日の２日間、毎年恒例のおもちゃ博物館お正月特別開館が行われました。

別館１階わくわく夢広場に和凧や中国凧が展示され、手作り羽子板コーナーや手作り凧教室では、お父さんお母さんに手伝ってもらいながら、子どもたちがオリジナルの凧や羽子板作りを楽しんでいました。

また、「琉球國祭り太鼓栃木支部」によるエイサーの演舞やお子様限定の抽選会によるおもちゃプレゼントも行われ、多くの来館者がお正月を満喫していました。

私の作品

「のぼりぼうのぼれたよ」

壬生東小２年
髙山　悠希（たかやま　ゆうき）

壬生東小４年
奈良　美咲（なら　みさき）

発行人／壬生町役場　〒321-0292　栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集／総務部総合政策課情報広報係
電話0282-81-1814　FAX0282-82-8262　ホームページhttp://www.town.mibu.tochigi.jp
環境保護のため再生紙を使用しています。
i-mode・ezweb用　softbank用